

基金を活用した助成事業のご紹介

■ 協働助成事業(テーマ希望型)

寄付者が希望したテーマに
ふさわしい取組みに対して
助成されます

アサヒピール株式会社からの寄付による 《うまい!を明日へ!「山形の宝」継承活動支援事業》

1 伝える^{わざ}技術と心 差し茅体験

事業実施団体 (特活)西沼田サポーターズネットワーク(天童市)

事業内容

茅葺きの住居が無くなった昨今、茅葺き技術を持つ方々の高齢化により技術の伝承が途絶えようとしています。そこで、西沼田遺蹟の復元建物の茅葺構造を利用し、技術の継承と茅を使う文化の継承を目指します。



茅葺建物の維持管理と差し茅体験等で指導者を育成するほか、遺蹟や文化財保護に対する意識の向上と啓発を図ります。

2 「シャルロット・ペリアンと新庄」展

事業実施団体 北国から発進の会(新庄市)

事業内容

戦前、国が招聘したフランスの装飾デザイナー、シャルロット・ペリアン氏が新庄を訪れ、民衆工芸品に触れて出来栄を賞賛するとともに、その助言・提案のもと寝椅子が制作されました。



ふるさとの歴史や文化活動を見つめ直し、次代につなぐきっかけとするため、ペリアン作品の展示会やシンポジウム、当時の新庄を舞台に撮影された映画の上映等を行います。

渋谷建設株式会社からの寄付による

《渋谷建設 ふるさと山形の未来を築く子育て支援事業》

手をつなぎあう子育て支援 大人と子どもが
一緒になっておもしろがる練習をしよう!

事業実施団体 子育てサークル・小さなおもちゃはこの会(大石田町)

事業内容

東北にはない体験型ミュージアムを開催し、多くの子どもに楽しい体験をさせるとともに、保護者の方には楽しい子育ての手段を知ってもらう機会を提供します。

また、児童書の作家を招いて「ものがたりライブ」を開催し、より豊かな読書体験のきっかけづくりを行います。



山形県民共済生活協同組合からの寄付による

《「助けあいの心」地域の子育て機能向上支援事業》

親子ふれあい活動

事業実施団体 (特活)尾花沢総合スポーツクラブ(尾花沢市)

事業内容

子どもの体力不足が全国的に社会問題となっている現状を保護者の皆さんに理解してもらうとともに、子どもの体力向上を図ることが必要となっています。

そこで、親子一緒に体操教室、身近なものをを用いた工作やレクリエーションを通して、豪雪地帯という地域においても、季節を楽しみながら親子で身体を動かす機会を創出します。



■ 協働助成事業(テーマ希望型)

ふるさと公園管理運営企業体及び仙山交流チャレンジマーケットからの寄付による 《手をつなごう明日に向かって!復興支援「絆」事業》

1 石巻復興支援、現地新拠点設置事業

事業実施団体 VC(ボランティアセンター)を支援する会・山形(最上町)

事業内容

被災地の支援活動は瓦礫処理や泥出しからコミュニティ支援や生活支援に移行しています。その活動の変化に対応し、ニーズに即した支援活動を展開するために、より地域に身近な新しい活動拠点を設置しました。



2 高島発ボランティアワゴン運行活動

事業実施団体 災害復興活動支援団体S.K.E.T.(高島町)

事業内容

被災地への継続したボランティア派遣の仕組みとして、活動を希望する個人を対象としたボランティアワゴンの定期運行を企画しました。



少人数のチームで活動し、登録した人が活動できるときに無理なく参加できる方式をとっています。

メッセージ 寄付者からのメッセージ

ふるさと公園管理運営企業体 代表 遠藤 正幸さん

私どもは、最上川ふるさと総合公園の指定管理者として「住民に愛され親しまれる公園」を目指し、管理運営を行っております。

昨年行われた第5回スーパーカーミーティングは、参加車両122台、来場者1万5千人と、全国でも類例のない大規模な催しとして評価をいただいております。その中で、オーナー様・来場者様からいただいた思いを、ボランティア団体を通して震災の復興支援に有効に役立てていただきたいと思います。



仙山交流チャレンジマーケット 会長 新関徳次郎さん

仙台地域での産直や物産市などを主な活動としていることから、仙台地域の事業者とも交流を深めており、東日本大震災においては、交流がもたらした縁で被災地での復興支援活動を行っております。

このたび、多くの県民の方々に宮城県復興に協力して欲しいとの願いから、微力ながら協力させていただきました。

一日でも早い復興が実現できるよう、私たちは今後とも仙山交流を進めてまいります。



施設紹介

蔵王こまかさ分校で蔵王の豊かな自然を満喫!

事業実施団体: 蔵王緑の騎士団(上山市)

「人を活かす交流まちづくり施設整備支援事業」を活用し、上山市中川小学校の旧蔵王分校が改修され、子どもたちの体験教育の活動拠点「こまかさ分校」として整備されました。

築60年の校舎の原型を残し、蔵王地区や分校の歴史と文化を次世代に伝えながら、施設の環境は衛生面・利便性・安全性で改善されました。森林保全活動や学習活動を通して、地域内外の子どもから大人まで幅広い年代の方々の交流が今後ますます広がっていくことが期待されます。

